

# **県次期総合5か年計画 佐久地域計画の策定に向けて**

**令和4年10月19日**

**佐久地域振興局**

# 策定に向けた検討状況

管内市町村長へ  
6月に提示  
(次頁のとおり)

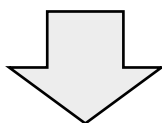
現状の分析



課題の整理

県民の皆様からの  
ご意見

- ・市町村長
- ・県議会議員
- ・事業者
- ・各種団体
- ・若手県職員 等



具体的な事業の検討

現在、検討中



計画原案公表

12月を予定

## 佐久地域の現状

令和4年6月 佐久地域振興局

### 佐久地域の強み

### + $\alpha$ (プラスアルファ) 要素

#### 首都圏との近さ

- ・北陸新幹線で1時間～1.5時間
- ・高速道路により車でのアクセスも容易

#### 地域交通（市町村間交通）の再構築 ／自動車頼みからの脱却

- ・世帯あたりの乗用車保有台数が多い
- ・公共交通は路線廃止や利用者減が進む

#### 医療体制の充実／農村医療の伝統

- ・佐久総合病院をはじめ13病院が存在
- ・医療従事者も多く、医療体制は概ね充実

#### 高齢者数の増加等を見据え、 医療・介護・生活支援の更なる充実

#### 豊かな自然環境／圧倒的な晴天率 ／熱帯夜がない冷涼な気候

- ・年間平均降水量が少なく、日照時間が長い

#### 佐久地域のブランド力向上

- ・民間調査においては、苦戦する自治体も

#### 新しい特徴的な教育の充実

- ・軽井沢風越学園、大日向小・中学校、  
ISAK JAPAN、森のようちえんぴっぴ...

#### 高校・専門学校・大学の強化

- ・工業系・IT系の学校が他地域に比べ少ない
- ・高校生は上田、山梨県、群馬県に流出

#### 災害（地震・水害）が少ない

- ・災害復旧事業費が少ない
- ・雨が少ない等、気候にも恵まれている

#### 浅間山の火山防災

- ・直近では2019年に小規模噴火が発生
- ・噴火警戒レベルは上げ下げを繰り返す

#### バランスのとれた産業構造

- ・農林業も製造業も観光も商圏も強い
- ・佐久平駅を中心に生活圏が形成

#### 30年後を見据えた産業施策

- ・持続可能な農林業や製造業中心からの  
転換が必要ではないか

#### 子育て世代（30～40代）の移住増

- ・移住者数は10圏域で最多
- ・コロナ下において子育て以外の移住も増加

#### 移住者（クリエイティブ人材）の活躍の場 ／地域産業との連携がない

### 世界的・全国的な環境変化

気候変動

D X (AI・IoT) /  
Society 5.0

食料問題

文化芸術活動 /  
地域の歴史・文化財

人口減少 /  
少子化

価値観の変化  
(Well Being)

...

## ○新しい教育の場（一部を例示）

### ■一般社団法人森のようちえん ぴっぴ

- ・2007年 軽井沢の自然の中で、園舎を持たない野外保育として開園。
- ・長野県信州型自然保育（信州やままいく）認定団体であり、多様な自然や地域の環境を活かした保育・幼児教育が特徴。

### ■ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパン

- ・2014年 日本初の全寮制国際高校として軽井沢町に開校。
- ・日本人をはじめ、日本育ちの外国人や海外からの留学生など、多種多様なバックグラウンドを持つ生徒が在籍し、同じ教室で学び、寮での共同生活を送っている。

### ■学校法人西軽井沢学園

- ・2018年 日本で初めての行動分析学による共生の幼稚園として、御代田町に「サムエル幼稚園」を開校。
- ・発達に障害がある子どもを含め、一人ひとりに併せたオーダーメイドの個別支援を推進。
- ・佐久地域で新たな小学校を設立する計画がある。

### ■学校法人茂来学園 大日向小学校・大日向中学校

- ・2019年 日本初のイェナプラン教育校として佐久穂町に開校。
- ・一人ひとりの自主性と可能性を生かし、子ども自身が学習計画をたて、異年齢の集団で協働的に学んでいる。
- ・2022年4月には小学校の隣に中学校が開校。

### ■学校法人軽井沢風越学園

- ・2020年 軽井沢町に開校
- ・軽井沢風越公園近くにある2.2万坪の緑豊かな場所で、3歳～15歳の子どもたちが、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって、遊ぶ/学ぶ体験を積み重ねている。（幼少中混在校）

# 【高校・専門学校・大学の強化】

## 佐久地域の教育環境（他圏域との比較）

佐久地域は魅力ある小中学校（幼児教育）が多くあり、県内外から人々を引き付けている。  
 高校以降の学科構成を見ると、**地域医療・福祉を支える人材養成機関は充実しているものの、工業系・IT系の学校が他地域に比べ少ない**

|           | 佐久地域<br>(204,416人)  | 上田地域<br>(193,898人)   | 諏訪地域<br>(193,838人)   | 上伊那地域<br>(179,892人)  | 南信州地域<br>(155,346人)  |
|-----------|---|--|--|--|--|
| 私立小中学校    | 軽井沢風越学園（義務教育学校）<br>大日向小・中学校<br>佐久長聖中学   |  |  |  | どんぐり向方学園（義務教育学校）   |
| 県立高校（全日制） | 9校 37クラス<br>普通科 24クラス<br>農業科 3クラス<br><b>工業科 2クラス</b><br>商業科 4クラス<br><br>総合学科 2クラス<br>理数科 1クラス<br>音楽科 1クラス | 5校 34クラス<br>普通科 21クラス<br><br><b>工業科 3クラス</b><br>商業科 1クラス<br>家庭科 2クラス<br>総合学科 6クラス<br>国際教養科 1クラス  | 9校 38クラス<br>普通科 28クラス<br>農業科 1クラス<br><b>工業科 5クラス</b><br>商業科 3クラス<br>家庭科 1クラス   | 7校 30クラス<br>普通科 19クラス<br>農業科 4クラス<br><b>工業科 3クラス</b><br>商業科 3クラス<br><br>理数科 1クラス | 7校 29クラス<br>普通科 16クラス<br>農業科 4クラス<br><b>工業科 5クラス</b><br>商業科 2クラス<br><br>理数科 1クラス<br>国際教養科 1クラス |
| 私立高校      | 佐久長聖高校<br><b>ISAK</b><br>地球環境（通信制）  | 上田西<br>コードアカデミー（通信制）<br>さくら国際（通信制）<br>ID学園（通信制）  | 東海大学付属諏訪   | 伊那西（女子高）<br>つくば開成学園（通信制）   | 飯田女子（女子高、通信制）<br>天龍興譲（通信制）   |
| 大学        | <b>佐久大学</b>   | <b>信州大学（繊維学部）</b><br><b>長野大学</b>   | <b>諏訪東京理科大学</b>  | 信州大学（農学部）<br><b>長野県看護大学</b><br>信州豊南短期大学<br><b>長野県南信工科短期大学校</b>                   | （信州大学飯田サテライト）  |
| 短大        | <b>信州短期大学</b>   | 上田女子短期大学<br><b>長野県工科短期大学校</b>  | <b>長野県福祉大学校（諏訪市）</b>   |  | <b>飯田女子短期大学</b>  |
| 専門学校      | <b>小諸看護専門学校（小諸市）</b><br><b>佐久総合病院看護専門学校（佐久市）</b><br>白田経理専門学校（佐久市）<br>専門学校アースビジネスカレッジ（佐久市）                 | <b>信州上田医療センター附属看護学校（上田市）</b><br>上田総合文化専門学校（上田市）<br><b>上田簿記ビジネス専門学校（上田市）</b><br><b>長野医療衛生専門学校（上田市）</b><br>専門学校長野ビジネス外語カレッジ（上田市）<br><b>長野救命医療専門学校（東御市）</b> | <b>諏訪赤十字看護専門学校（諏訪市）</b><br><b>諏訪中央病院看護専門学校（茅野市）</b><br><b>岡谷市看護専門学校（岡谷市）</b><br><b>エプソン情報科学専門学校（諏訪市）</b><br>上條経理専修学校（岡谷市）<br>岡谷音楽専門学校（岡谷市）<br>八ヶ岳中央農業実践大学校（原村） | <b>長野県公衆衛生専門学校（伊那市）</b><br>やまと文化専修学校（駒ヶ根市）                                       | 飯田ビジネス専門学校（飯田市）<br><b>飯田コアカレッジ（飯田市）</b>  |

※県HP等より佐久地域振興局調べ

**赤字太字**は工業・IT系の学科・学校  
**緑字太字**は医療・福祉系の学科・学校

## ○通学人口の地域間流動

### ■小諸市

<2015年>

|       | 流入        | 流出          | 流出入の差       |
|-------|-----------|-------------|-------------|
| 全体    | 823       | △938        | △115        |
| うち佐久市 | 303       | △421        | △118        |
| うち上田市 | <b>92</b> | <b>△264</b> | <b>△172</b> |

- ・小諸市は、御代田町や東御市等から多くの流入があるが、佐久市や上田市へ流出
- ・上田市への流出数が特に大きい

### ■佐久市

<2015年>

|       | 流入         | 流出          | 流出入の差       |
|-------|------------|-------------|-------------|
| 全体    | 1,486      | △1,218      | 268         |
| うち上田市 | <b>164</b> | <b>△293</b> | <b>△129</b> |
| うち群馬県 | <b>22</b>  | <b>△67</b>  | <b>△45</b>  |

- ・佐久市全体では流入超過だが、上田市には、流出超過
- ・一部が県外（群馬県高崎市等）へ流出

### ■川上村、南牧村

<2015年>

|       | 流入       | 流出         | 流出入の差      |
|-------|----------|------------|------------|
| 全体    | 0        | △189       | △189       |
| うち山梨県 | <b>0</b> | <b>△27</b> | <b>△27</b> |

- ・川上村、南牧村では、一部が県外（山梨県北杜市、甲府市等）へ流出

## 【あるべき姿】

- 佐久地域内外から注目される高校教育

## 【 現状 】

- 小・中教育は充実してるものの、高校以降で他圏域・県外へ流出している。

## 【検討事項】

- **子ども達にとって「魅力ある高校」にするには？**
- **多種多様な学びを追求する生徒を高校としてどう支えるか？**
- **高校でのキャリア教育をどう考えるか？**